



南中だより

平成26年 6月14日
東久留米市立 南中学校
校長 川上 智

進路説明会にて

6月12日(木)の午後、本年度第1回の進路説明会がありました。3年生とその保護者とともに、2年生の保護者の方も一部出席されていました。

私は冒頭、次のような話をさせていただきました。

第3学年の教員から今年の3年生は全員が進学希望と聞いております。そこで、私からは、一点、お話しをさせていただきます。

進路を選択するに当たっては、「その学校で何を学ぶのか」「どんな力を身に付けたいのか」という視点をもって学校を選択することが重要と考えます。

高校を終了した時点での、次の進路を選択し決定する際、「どこの学校を卒業したのか」ということよりも、「3年間で何を学び、どんな力を身に付けたのか」ということのほうが、はるかに重要な意味をもっています。

「いい学校に行きたい。」という話をよく聞きます。

「いい学校」が指すものは、おそらく、多くは学力が高いとか、ネームバリューがあるといったものだと思います。

でも、そうした「いい学校」を卒業したからといって、必ず「いい大学」「いい会社」「いい人生」が待っているとは限りません。

「いい学校」とは、一人一人の生徒が、自らの意志で選び、そして入学した学校であり、それが日本で一番いい学校だと私は思うのです。

「何を学び、どんな力を身に付けたいのか」このことをしっかりと心にとめて、進路に関する話を家庭でじっくりとして欲しいと思います。

保護者の皆様には、担任とよく相談をしていただくことをお願いするとともに、生徒諸君には、健康に留意して、最後まで努力し続けることを期待して、話を終わります。

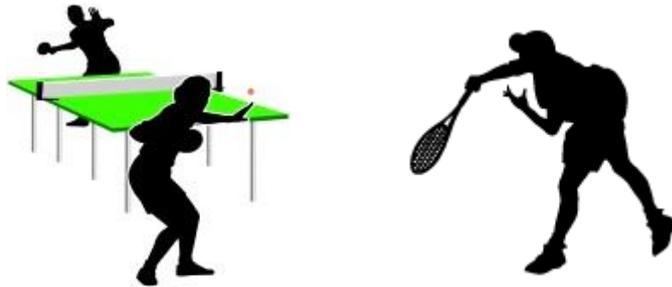
「何を学び、どんな力を身に付けたのか」このことは、高校在学中に完結するものではなく、卒業後のその先にもチャンスはたくさんあります。人は挑戦し努力し続ける限り、成長していきます。子供たちには、真剣に「何を学び、どんな力を身に付けたいのか」を考えて欲しいと思っています。

あいさつ運動

今月の10日から18日までの7日間、生徒会が中心となって、登校時、正門や昇降口で生徒によるあいさつ運動が行われています。子供たち同士が大きな声であいさつを交わしている姿は、見ていてとても清々しい気持ちになります。梅雨の鬱陶しさも和らぎます。ご家庭や地域の中でも大人から、子供からそれぞれが気持ちよくあいさつできたなら素晴らしいと思うのです。

卓球部、ソフトテニス部 都大会出場

卓球部は昨年に引き続き、そしてソフトテニス部は11ブロック夏季大会女子団体で敗者復活戦を勝ち上がり、都大会出場を果たしました。3年生にとっては最後の大会。悔いが残らぬよう全力でプレーしてください。



社会を明るくする運動に合唱部が出演

平成26年7月5日（土）午後1時から、まろにえホール（東久留米市生涯学習センター）で行われる、“社会を明るくする運動”市民のつどい・音楽祭に合唱部が出演します。ご覧いただければ幸いです。

第32回東久留米市環境ポスターコンクール

優秀賞

2年1組	岩崎	ちなつ	2年3組	萬	伊吹
3年1組	鈴木	真央	3年3組	石神	颯斗

佳作

2年1組	荒木	美優	2年2組	田中	瑞穂
3年4組	滝島	蒼史			

受賞、おめでとうございます。優秀賞の作品は市のホームページにも掲載されています。